審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第7回松阪市立学校教室等環境対策検討委員会
2. 開 催 日 時	平成29年9月22日（金） 午後3時～午後4時30分
3. 開 催 場 所	松阪市教育委員会事務局 2階 教育委員会室
4. 出席者氏名	（委員）◎ 須藤委員、○長島委員、小山委員、前田委員、中西委員、丸山委員、杉山委員、寺田委員（◎会長 ○副会長） （事務局）松名瀬局長、青木参事兼教育総務課長、須崎参事兼営繕課長、萬濃学校支援課長、沼田こども未来課長、川口教育施設担当監、渡邊学校施設マネジメント係員、石垣学校施設マネジメント係員
5. 公開及び非公開	一部非公開
6. 傍 聴 者 数	0名
7. 担 当	松阪市教育委員会事務局 教育総務課 TFL 0598-53-4355、4382 FAX 0598-25-0133 e-mail:syom.div@city.matsusaka.mie.jp

主な協議事項

(1) 議事

- ① 前回議事録の確認について
- ② 答申書(案)について

(2) その他

※議事録については別紙のとおり

第7回 松阪市立学校教室等環境対策検討委員会議事録

1. 日時 平成29年9月22日(金) 午後3時～午後4時30分
2. 場所 松阪市殿町1315番地3 松阪市教育委員会事務局 2階 教育委員会室
3. 出席者 委員：須藤委員長、長島副委員長、小山委員、前田委員、中西委員、丸山委員、杉山委員、寺田委員
事務局：松名瀬局長、青木参事兼教育総務課長、須崎参事兼営繕課長、沼田こども未来課長、油谷子ども安心担当主幹、川口教育施設担当監、渡邊学校施設マネジメント係員、石垣学校施設マネジメント係員

4. 内容

(1) 議事

- ① 前回議事録の確認について
- ② 答申書(案)について

(2) その他

議事については以下のとおり。

(委員長)

それでは、(1) 議事に入りたいと思います。

まず、①前回の議事録の確認についてでございますが、事前に事務局より配布させていただいておりますので、ご確認いただいたかと思いますが、訂正箇所等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。また、お気づきの個所が出てきた場合は、事務局にお申し出ください。

それでは、「②答申書(案)の検討」に入りたいと思います。ここからは、非公開といたしますので、傍聴の方はみえないでしょうか。よろしいでしょうか。では、「(2) 答申書(案)について」に入ります。私の方で、答申書の素案として第1回から第6回までの意見をまとめました。これを基に作り上げていきたいと思っています。なお、前回委員よりご意見をいただきました「エアコンが導入された場合、今後の教育内容にどのようにプラスになるのか」については、3.2で議論したいと思います。では、答申書の素案について全体構成を簡単に説明させていただきます。

まず21ページに目次を付けております。全体で30ページほどの答申書となっており、最初に「はじめに」ということで私からのコメント、2章に松阪市立学校教室等環境対策検討委員会に関する基本的な事項をまとめております。3章、4章はこの委員会でディスカッションを行った内容になっておりますが、3章がエアコンのあり方について、4章がトイレの洋式化のあり方について

ということでまとめております。3章と4章の前半では現状の課題ということでエアコンだとかトイレの状況がどのようになっているとか、教室の温度がどれくらいになっているとかの基本的な情報をまとめたのが、3章、4章になっています。章の後半では委員会のなかでディスカッションのあった内容をまとめています。5章については検討結果のまとめということで、3章、4章での結論を一覧にさせていただいております。それでは中身に入らせていただきます。まず、23、24ページに1章の「はじめに」というところで私からのコメントとなっておりますが、この部分に関して何かご意見等ございますでしょうか。

ないようでしたら、次へ行かさせていただきます。25ページ以降になりますが、この委員会の概要についてまとめさせていただいております。25、26ページとありますが、何かご意見等はありますでしょうか。

私の方からですが、一部修正したいところがありまして、2.1の諮問事項のところですが、写し間違いがあり(1)の「エアコン整備」のところを、「空調整備」に修正させていただきます。この2に関しては「洋式トイレの検討」を「トイレの洋式化等の検討」に諮問書通り修正させていただきます。また全体的なことですが、現在の答申書では「エアコン」と表現をしていますが、これについても専門的な言い方かもしれませんが諮問書に合わせて「空調機器」に統一させていただきます。私からは以上ですが2章の25ページ、26ページに関して何かご意見等はございますでしょうか。

では、ないようですので次へ行かさせていただきます。3章ですが27ページ、28ページになりますが、3.1.1幼稚園、小学校、中学校のエアコンの設置状況ですが、1点修正がありまして、「市内の小学校36校のうち普通教室にエアコンが設置されているのは・・・」とはありますが、正確には「市内の小学校36校のうち普通教室すべてにエアコンが設置されているのは・・・」が正確ですので修正させていただきます。その他ございますでしょうか。

(委員)

表のところにも「空調導入率」、「エアコン導入率」と混在していますが、修正していただくのでしょうか。

(委員長)

表2、表3も「エアコン」となっているところも「空調機器」に修正させていただきます。他に何かご意見等はございますでしょうか。では、ないようですので次へ行かせていただきます。

29ページ、30ページ、30ページが3.1.2ということで教室環境測定の概要と結果をお示ししております。それに関して何かご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。では次に移りたいと思います。

続いて31ページの3.1.3については小学校への教室環境に関するアンケート調査の結果ということで、豊地小学校と近隣の2小学校で実施したアンケート結果をまとめたものとなっております。これに関してご意見等ございますでしょうか。ないようですので次に進みます。

32ページが3.2でエアコン設置に関しての効果、影響等をまとめたものです。ここに関して何か

ご意見等はございますでしょうか。

(委員)

すいません、4番の「体温調整できないこども」とありますが、「こ」を「子」へ変えていただくと、「汗もかくことのできないので、急に倒れたりすることがある」というのはあまりにも限定的ですので、「汗もかくことのできないのこもいる」という表現に修正していただいた方が良いかと思えます。自分で服を脱ぐのが困難な子もいますので、そういう表現を足していただいてもいいのかなと思えます。

(委員長)

ありがとうございます。その他ございますでしょうか。ないようですので次に進めさせていただきます。次に33ページで市民意識調査の結果をまとめさせていただきます。ここについて現在一部空欄となっておりますが、本日資料で市民意識調査の自由回答を参考資料としていただきましたので、ここからいくつか抜粋して私の方で加筆させていただきたいと思えます。先ほどから見させていただいているなかでは、大体10個くらいのコメントを載せたいと思えますが、エアコンの導入に賛成の意見が75%程度あるので、賛成の意見を4つ程度、条件付きで賛成の意見が3つ程度、反対となるような意見を3つ程度、掲載したいと思えます。例えばですが、賛成意見としては「教育環境を良くし伸び伸びとした活力のある子どもの成長が必要」という意見だとか、「これからの世代を支える子ども達が集中して学習できる環境づくりは今から考えていってほしい」、「昔と違う環境になっているのでエアコンを設置してほしい」とか、完全にポジティブな意見を4つ程度入れさせていただきます。続いて条件付きの賛成ですが、例えば「予算的に大変な部分があるので、小さいこどもから順番に入れればいいのではないのでしょうか」、だとか「冷えすぎないように要らないときには消すなどルールを決めて使うようにして下さい」など条件のついたものを3つ程度、書かせていただきます。それから最後に反対の意見としては「暑さに強くなるように考えてほしい」だとか、「設置してエアコンの維持費だとか、掃除とかが大変になるのではないか」とか、「ランニングコストをどう払うのか。それを払うために他の教育予算が削られるのであれば反対」といったような意見がありますので、それを記載させていただきたいと思えます。このページに関して何かございますでしょうか。ないようですので次に進めさせていただきます。

続いて35ページ、35ページにおける西中学校における遮熱フィルムと断熱塗料の検証結果となっております。図8及び図9にその効果の結果が添付されておりますが、現在の測定中ですので9月に測定した新しい情報をこちらに添付させていただきたいと思えます。来月の検討委員会で差し替えさせていただきたいと思えます。おそらく全体的な傾向等は変わらないと思えますが、正しい結果を掲載させていただきたいと思えます。このページに関しては何かございますでしょうか。

それではないようですので次に進めさせていただきます。続いて3章5節、ここからがこの委員会のなかでディスカッションした内容となっておりますが、3.5.1がエアコン導入の是非に関する検討ということで、(1)が快適性・健康性という面からの検討、(2)がコスト面からの検討という

ことで、ディスカッションを行った内容で取りまとめさせていただいております。まず、3.5.1 のエアコン導入の是非の検討について、何かございますでしょうか。

ないようですので次に進めさせていただきます。3.5.2 が教室の優先順位の検討ということで、(1) が教室の利用時間について、(2) が教室の優先順位の検討となっています。

(委員)

すいません、少しよろしいでしょうか。その前のところで意見がございまして申し訳ないです。3.5.1 の③なのですが、「将来的な幼稚園・学校の統廃合を見据えた配慮事項」ということで、「子どもの数が減少している学校がある一方で、増加している学校もある。このため、児童生徒数の推移を考慮に入れた上で、統廃合が想定される小・中学校、幼稚園への導入については判断されたい」とのことですが、この検討委員会でも何回か統廃合する学校については、エアコンの設置が勿体ないだとか、付けない方向で、との意見が出て、その場合でもその時に在籍した子ども達のことを考えて検討した方がいいんじゃないですか、との意見もあって、その検討というのは統廃合が想定される場合でもエアコンを設置することも含めて検討されるということだったのではないのでしょうか。ここで、エアコンを設置するかどうかを決めるのにあたって統廃合の問題が絡んでくると、すごい大きなこととなるかと思います。小さい学校から見たときに、この書き方だとデリケートな部分があるので検討が必要だと思います。

(委員長)

この点に関しては事務局の方としてはいかがでしょうか。

(事務局)

事務局としては、先ほどご意見をいただきまして小中学校に関しては統廃合というのは全然決まっていない状況です。ここのエアコンの答申の方からは除いてもいいのかな、と事務局としては思いますが、方や幼稚園に関しては事務局の方からご説明させていただきましたように休園基準がございしますので、それをもう少し具体的に明記させていただくともあるのかと思います。

ここはあくまでも検討の内容ですので、答申ではありません。少し後になりますが、付帯意見の方で触れていただいておりますので、ここではそれも踏まえて検討が必要という意見があったということになると思います。その代わりに、付帯意見のなかでそのことについて、幼稚園と小中学校では若干扱いが違いますので、実際に記入していただいておりますので具体的にした方が良いのかなと思います。ここはあくまでも検討の内容と捉えていただいて良いのかと思います。

(委員長)

ここはというのは、3章のところはこのままでということでしょうか。

(事務局)

付帯意見の方で触れていただいているかと思います。具体的には 48 ページの方で触れていただいておりますので、ここでもう少し配慮をしてもらうことかと思います。3章については検討結果の内容ですので、答申となるのは5章の方で、修正として5章の方でさせていただく形でいかがでし

ようか。

(委員)

小中学校では統廃合がはっきりと決まっているところがないのに、こうやって記載していくのはデリケートなことでもあるし、どうかと思います。

(事務局)

改めて付帯意見でご意見の方を調整していただければと思います。

(委員長)

付帯意見というのはその前に出てきていない意見は盛り込めないと思いますので、3.5.1 で出てきた意見を取りまとめたものが5.1.2になるのかと思いますので、そうすると3.5.1でも修正をした方が良いかと思います。

(委員)

導入する方向の検討であればいいのかと思いますが、統廃合するかもしれない学校であれば地域や学校としてはどうなのかと思います。予算面で大変なのは分かりますが。

(委員長)

統廃合が決まっている幼稚園に対しては何らかの配慮が必要だとかの、そういったところの配慮が必要ということを書いた方がいいとのご意見でしょうか。

(委員)

そういった具体的なことはいいのかと思いますが、統廃合の部分については配慮、検討が必要かと思います。

(委員長)

この内容につきましては一度検討をさせていただきます。

(委員)

すいません、別件ですが付帯意見に入れる場合は、ここでも記載があった方がいいとのことなので1つ意見を言わせていただきます。よろしいでしょうか。トイレの洋式化については学校本体だけではなくて体育館だとかも議論がありましたが、空調については学校本体に含まれながら非常にエアコンがなくて困っているところがあり、それは給食室のことなんです、実は私の学校は隣に給食センターがあってこれまでずっと空調がないような状況でした。非常に暑いし、網戸にしています、網戸からコバエが入ってきたりするなど網戸にもできないような状況で調理をいただいていた。それがやっと去年空調設備をいれていただきました。いろいろ調理員さんの話を聞いていますと、衛生管理面、温度環境、労働環境などで空調が設置されたことで改善されたと聞いています。給食センターでさえ、去年設置されたということですので、小学校の給食室は数は揃っていませんが、かなり遅れていると思います。給食室の空調設置に目を向けていただく必要があるかと思います。

教室については温度の基準が先生からもご説明がありましたが、給食室についてもそういった基

準があるかと思しますので、松阪の現状とそういった基準というのを教えていただければと思います。予算的なこともあるのでどうなるかは分かりませんが、ある意味、特別教室よりかも優先度が高くなるべきところが抜けていたと思います。

(委員長)

給食室に関して現在の状況だとか、お分かりになっていますでしょうか。

(事務局)

旧市内には単独調理場ということで、計画的なエアコン設置を行ってきています。本年度は1校整備しておりまして、残っているのが17校ございます。学校給食衛生管理基準がございしますが、そのなかでは学校給食施設での衛生管理で、換気を行うことや、温度では25℃以下とされていて教室環境よりも厳しい基準となっています。湿度などにも基準がございしますが、そういったことを保てるように努力をしていますが、現状としては遅れています。ご意見をいただくのであれば、教室環境と同時に一括してやっていくとかした方が効率的・効果的だとか、そういうことかと思います。

(委員長)

給食室も導入が遅れているということで付帯意見としては入れていきたいと思います。その他ございますでしょうか。教室の優先順位ということに関しましては、公平性などを考えて普通教室、特別教室なども導入が必要とのことで、予算上可能な範囲で実施すると書かれていますが、この内容に関していかがでしょうか。では、ないようですので次に進めさせていただきます。また5章の時にでもご意見をいただきたいと思います。

それでは38ページに移りまして、整備校の優先順位の検討ということで幼稚園・小学校・中学校でも検討内容を記載させていただいております。全体的には幼稚園・小学校・中学校の順位で整備を行った方が良いのではということでもとめられています。この内容に関しましてご意見等はございますでしょうか。では、ないようですので、また後でお伺いします。

続きまして3.5.4の熱源の検討に関してですが、この内容に関していかがでしょうか。この内容については私の方からですが、1段落目のなかで本委員会での議論はコストの計算をして、委員会では結論が出なかったもので、松阪市の教育委員会に委ねるものとした、とまとめられています。その後で3行ありまして、私の方で意見を取りまとめたものですがこの表現を替えた方がいいのかなと思、修正案としては「各幼小中学校のコストに大きな差がある場合はコストを精査し有利な熱源を選択すること」とさせていただき、ここでは熱源に関してあまり明確に言わない方がいいのかと思修正をさせていただきたいと思います。計画段階でそれを決めた方が良くかと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。表現を改めさせていただきます。

それでは39ページをお願いします。39ページ、40ページ、41ページに関しては学校のトイレの現状と課題ということで、表5、表6及び表7で学校のトイレが和式・洋式がどのような割合になっているかだとかを学校別に示させていただいております。その後、(2)で小中学校の視察の際にいただきました意見をまとめさせていただきました。この内容に関しまして何かご意見等はござ

いますでしょうか。現状ですので、このまま次に行かさせていただきたいと思います。

続いてですが、4.2で学校トイレの洋式化に関する導入状況ということで、こちらはTOTO様からの説明をピックアップして記載させていただいております。何かご意見等はございますでしょうか。

それではないようですので、次に進めさせていただきます。43ページ、トイレに関しての市民の意識調査の結果を取りまとめさせていただいております。まだ自由記述の部分が抜けておりますので加筆させていただきたいと思います。スペースの都合上、ここでは5つくらい自由記述をいれさせていただきたいと思います。全部読まさせていただきましたが、いろいろな意見が出ておりました、和式洋式の議論として入れたいと思うのは、「和式とか洋式とか議論するまでもなく、時代は変わっているので完全に洋式化で良いと思う」という意見であったり、「洋式の方が汚れにくく悪臭もしないので洋式化を進めるべきである」という意見。それから「現状調査や生徒にアンケートして割合を決めたらいいのではないのでしょうか」という中立的な意見、それから和式も使えた方がいいとも意見もかなりありました。洋式化をするということに関しては皆さんかなりポジティブ意見ですが、和式を残した方がいいとの意見もかなり出ていますので、そのあたりも踏まえてこの中に5つ程度入れていきたいと思います。43ページの内容についてその他ご意見ございますでしょうか。

では続きまして44ページ、ここからは洋式化に関する検討を委員の皆様にしていただきました内容をまとめさせていただいております。44ページがトイレの洋式化についてそれぞれ幼稚園・小学校・中学校についてディスカッションした内容をこのページの前半にまとめさせていただいております。最後に以下、議論をまとめるということで結論を書かせていただきました。以下、議論をまとめる、ということに関しては、最後5章でこのまま書かせていただいております。44ページの内容に関してご意見ございますでしょうか。

(委員)

①の幼稚園のところでPTAから意見をいただきました、とありますが、PTAとしては保護者からその意見をいただいているので「保護者」と変えていただいた方が良いかと思います。

(委員長)

それではPTAから保護者へ変更させていただきます。その他ございますでしょうか。この内容に関してはまた5章で出てきますので、その時にお願い致します。それでは45ページに(2)多目的トイレの設置および便座の機能について、ということと、(3)洋式便座の機能について、(4)校舎内男女共用トイレについて、ということとまとめさせていただいております。ご意見ございますでしょうか。45ページの内容については5章にも出てきますので、その時にもご意見お願い致します。

それでは4章の最後になりますが、46ページの(5)体育館のトイレについてですが、この内容に関してご意見ございますでしょうか。それではないようですので次に進めさせていただきます。

47ページですが、エアコンに関する方針の取りまとめ、続いて48ページは付帯意見としてまと

めております。まず47ページに関してご意見ございますでしょうか。

(委員)

よろしいでしょうか。(5)についてですが、フィルムについては0.6°Cの気温低下に加えて、学校は避難所でもあるので、地震だとか台風時のガラスの飛散防止の観点からも効果があるので、そういう点も加えていただいたらどうでしょうか。

(委員長)

その点は漏れていますので災害時の防災機能強化の観点からも重要であるという点を加筆させていただきます。

(委員)

学校は避難所になるので、台風の時にガラスが割れたりでは危ないので、できれば加筆していただきたいと思います。

(委員)

よろしいでしょうか。そうすると、(4)の熱源のところも変わってきますよね。

(委員長)

私の案としましては、「学校周辺のインフラの状況及び学校内の設備(受変電設備等)の条件の違いにより、コストに大きな差があり・・・」、その後から修正させていただきますが、「コストに大きな差がある幼稚園、小中学校におけるコストを精査して有利な熱源を選択すること」という形で修正させていただきます。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

内容を修正させていただきたいのが、47ページの(2)教室の優先順位についてですが、こちらでも表現を替えさせていただきたいと思います。後ろから2行目ですが「予算の都合上、全てが不可能であるということであれば」という表現を変えさせていただいて、案としては「財政上の配慮に鑑み、普通教室・特別教室、全ての教室に設置することが望ましいが、子ども達の学習にとって最低限必要な教室とし、教育委員会と学校側と協議のうえ特別教室の運用を工夫するなど個別の対応を行う」としたいと思います。現状の表現だと予算がないと、予算が足りない部屋は入れられないというような表現なのですが、そうではなくて、お金がないというのは確かなのですが、もう少し必要性が高いところから順に入れていくというようなニュアンスが出るような形で修正したいと思います。その他いかがでしょうか。

それでは48ページに行きたいと思います。48ページは付帯意見ということで、この答申とまでもいかなければ、今後将来的にこういった点も含めて整備する必要がありますよ、という意見を取りまとめたものとなっていますが、何か追加した方がいいとかご意見ございますでしょうか。

(委員)

よろしいでしょうか。③なんですけど、先ほど他の委員が言われましたように、学校の統廃合を見据えた配慮というのは削除してもらった方が良いかと思います。先ほどもそういう意見がありましたので、ここで議論をしてもらっても良いかと思います。

それともう一つは、検討委員会で幼稚園には休園基準があって、それに該当する園にはエアコンを設置しないということだったのですが、エアコンを設置しない代わりに可能な限り幼稚園の子ども達に配慮を行うという意見を加えていただければと思います。

それと事務局に聞きたいのですが、幼稚園の休園基準というのはいかに載っているのでしょうか。

(事務局)

委員長、すみません。委員言われましてことについてですが、休園基準というのは以前の委員会でも説明させていただきましたが、平成 25 年 3 月 29 日に教育委員会が出しております「松阪市立幼稚園整備計画」というものがございまして、そこで休園基準を総園児数 15 人未満としております。その後、いろいろ幼稚園に関する経過というものがございまして、例えば平成 27 年 3 月に出しております「松阪市子ども子育て支援事業計画」だとか、今年、平成 29 年 3 月に出しております「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」と、いろいろ計画がございまして、そのなかでもこの休園基準を踏襲しております。以上です。

(委員長)

この③に関しては全体的に書き換えさせていただきまして、そういった休園基準を踏まえて計画するというのと、休園が決まっているところに関しては可能な限り配慮を行って計画を行うということによろしいでしょうか。

(委員)

まだ、小中学校の統合の話が出ていないなかで、記載していくことに対してあまりにも抵抗があるように感じます。

(委員)

エアコンの導入に関してはここ 1～2 年で解決することと思いますが、その 1～2 年で統廃合のことがはっきりするとは思わないので、記載しないことでいいかと思います。

(委員)

③番は幼稚園のことに関する表現にしてもらおうということですよ。小中学校ではここ 2～3 年での統廃合は決まっていないので。

(委員)

小中学校については記載しない方が良くと思います。

(委員長)

このあたりについては全面的に書き換えさせていただきます。それから先ほど委員からお話がありました給食室に関してということで、こちらも付帯意見にいらさせていただきます。

(委員)

それからもう一つよろしいでしょうか。これから子ども数が減ってきて複式学級とかできると思います。そういう教室については大きなエアコンを付けなくてもコンパクトなエアコンにしたらどうかと思います。極端に言えば、家庭用では難しいかもしれませんが、業務でも小さいのがあるか

と思います。複式学級がないとも限らないので、そういうところを事務局で調査してもらったらと思います。30人学級と5人くらいの学級ではある程度必要となる能力が違うと思うので、そこについては事務局で検討していただいたうえ、変更してもらったらと思います。5人学級や10人学級のところに同じサイズのエアコンを入れるのは、ちょっと不経済なところがあるのかなと思います。

かなりこれから少子高齢化が進んで来るので、ここ10年間で必ず複式学級があると思うのでそこらへんも踏まえてお願いしたい。その点について事務局としてはいかがでしょうか。

(事務局)

そういうコンパクトなエアコン、コスト面に配慮したもの、移動が可能なものなど、先ほど委員が言われましたようなものも付けることが可能かと思いますので、それはコスト面でもかなり安いと思いますので、その点については配慮させていただきたいと思います。

(委員)

よろしくお願いします。

(委員長)

③が幼稚園のことにに関して全面的に書き換えることと、④については複式学級、将来的な子どもの数を見据えた設置に関する配慮を加えさせていただきたいと思います。他にご意見ございますでしょうか。それでは、ないようですので次に進めさせていただきます。

最後に49ページに進めさせていただきますが、49ページ、50ページに関してはトイレの洋式化に関する検討で5.2.1が方針、次のページの5.2.2が付帯意見となっています。まず方針に関しましていかがでしょうか。

(委員)

この前にも意見があったのですが、(4)について明確に分離するのがなかなか難しいと思うので、例えば1階を男子トイレ、2階を女子トイレとか、そういう分離にするだとかにしたらどうかと思いますので、そういう書き方にしてもらった方が良くと思います。

(委員長)

それは小学校の話ですよ。小学校は「男女トイレを明確に分離する」となっていますが、確かに今の書き方であれば分離が困難なところもあると思いますので、例えばこれを「スペース上、困難であればフロアで分けたりだとか、運用面で考慮する」だとかに変えた方がいいということですね。(4)の②の「小学校：男女トイレを明確に分離する。」を「・・・ということが望ましいが、スペース上困難な場合は運用面で配慮する」という形で修正させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員)

あと、もう一つ他の委員が質問されたと思いますが、トイレ1器あたりの人数、前回の資料でも出ておりましたが、学校ごとにばらつきがあるので例えば3人に1器だとか、20何人に1器だとかあるので、それを20人に1器だとかを目安にさせていただいたらどうかと思います。また事務局

で調査をしていただいて変更していただいたらいいかと思いますが、目安として 20 人に 1 器の洋式に便器の数にさせていただいたらと思います。

(委員長)

それは一つの便器に対して子どもの数が何人かということですね。

(委員)

前回の資料でもかなりばらつきがありましたので、例えば 50 人に 1 器のところもあれば、4.3 人に 1 器のところもあるので、そこら辺の目安を一応 20 人に 1 器程度にさせていただいて、あとは学校の意見を踏まえて変更していただいてもいいと思うので、そこ辺を付け加えていただいたらと思います。

(委員長)

おそらく、最初にトイレの総量を検討したうえで洋式化が何%とかそういった議論が必要だったかもしれませんが、今回の委員会ではいきなり洋式化がどれくらいかという議論が先行してしまっ、委員がおっしゃった議論ができない状況ではあったかと思います。

(事務局)

事務局の方でも何人に 1 器の洋式トイレが必要という目安はないとお話をさせていただいたかと思います。実際には要望を踏まえると 5~6 人に 1 つの洋式トイレがあるだとか、また何十人に 1 つ洋式トイレだとかばらつきがありますので、やはりそうなりますと過度な設備投資となることも考えられます。こちらでもいろいろ調べさせていただいて、そのなかで避難所におけるトイレの設置というのがありまして、国内のトイレに関する基準というものがございました。

これは洋式トイレがどれだけというのではなくて、全体のトイレ数としてですが、例えば女性のトイレについては 20 人に 1 つのトイレが必要となっています。それから男性の場合の大便器については 60 人に 1 つということとなっています。小便器については 30 人に 1 つとなっていて、これは災害時の避難所におけるトイレの数ですが、一つの目安になるかと思います。

その事例を一つ取ってみますと、津市が整備計画を作成しています。津市は 20 人に 1 つの洋便器としています。国内のトイレの基準ということで、事務所衛生管理基準ということで載ってありました。ただ、これがそのまま学校に適用されるということではないかと思いますが、この災害時において「スファイヤプロジェクト」による目安ということで、スファイヤプロジェクトというのは人道対応に関する最低基準ということで、これは NGO が最低限守らなければならない基準ということで、そのなかの学校という区分では、避難所というなかでは長期と短期に分かれており、長期においては女子では 30 人に 1 器、男子では 60 人に 1 器は必要ということは出ております。これはあくまで参考ですので、これがいいかどうかという問題はありますが一つの目安にはなるかと思います。他市の状況をみても 20 人に 1 器というところはこういう数字を参考にしているのかと思います。学校ではあれば先ほど申し上げた通りですし、スタッフ 20 人につき 1 人とかになっていますので、また参考にお渡しさせていただきたいと思います。

参考ですが、過去の災害における仮設トイレの数ということで北海道の南西沖地震の場合は約 20 人に 1 器で混乱はなかった。阪神淡路大震災においては約 75 人に 1 器ということで、この数が配備された段階でほとんど苦情がなくなったということが書かれております。ですので、この 20 人に一人というのは一つの目安になるかなと思います。以上です。

(委員)

前回の資料をみると生徒数の少ないところは 7 人に 1 器だとかになっています。そこについては余分な財源がある場合もあるので調整していただいた方が良いかと思います。

(委員長)

今のご意見に関していかがでしょうか。

(委員)

この仮設トイレの数というのは小学校とか中学校を避難所とした場合の仮設トイレの数ということででしょうか。

(事務局)

単純にそういうわけではないかと思いますが、表の中では女子 30 人に 1 器だとか、男子 60 人に 1 器とかなっています。ただ、学校の場合は 10 分か 15 分の間に集中して使用するということがございますので、洋式が 20 人に 1 器とした場合でも和式便所は残していくことになるかと思いますが、そうすると、全体の便器数としてはもっと多くなりますので、それを踏まえて 20 人に 1 器の洋式便器という考え方はあるかもしれません。

(委員長)

今のご意見としては答申書に総量として何人に 1 器だとかの目安を付けた方がよいとのご意見だと思いますが、その点に関していかがでしょうか。ここで何人に 1 つだとかの目安を決めるのは難しいかと思いますが、この点に関しては現段階でディスカッションするのは難しいので、次回に持ち越すか、もしくは今後の検討事項として付帯意見にいられておくという考え方があるかと思いますが、いかがでしょうか。

(委員)

よろしいでしょうか。まず工期が迫っているというなかで今回はそれにあまり時間を取られない方がよいかと思いますが、どうでしょうか。

それを載せることによって作業が煩雑になるなら載せなくてもいいと思いますし、そんなに関係ないなら載せた方がよいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員長)

そういう基準を付けずに手あたり次第洋式化してしまう方が、ひょっとしたら時間が掛かってしまうかもしれません。なので、検討段階においてある程度の目安を決めたうえで改修した方が効率がよいかと思います。また、コスト面も有利になるかもしれません。明確な基準というのは難しいと思いますし、おっしゃるとおり時間も掛かりますので、ある程度の目安はあった方がよいかと思

います。

(事務局)

委員長が言われましたように、各学校に要望をとった段階ではかなりばらつきがございました。その理由を考えますと目安がないということかと思えます。一例を挙げますと、第三小学校が大規模改造をしました。ここはもともとトイレブースが40数ブースあったのを23ブースに変更しました。前の資料でいきますと、18人に1器の洋式トイレとなっています。そういう意味から言いますと、もともと12学級あったのが6学級になったりとしている学校もあるので、ある意味過剰に便器があるというのは事実かと思えます。それを考えますと、ある程度の目安を作っていただいた方が私どもも無駄な設備投資をしなくてもいいですし、学校としても適度な数になるのかなと思えます。ただ、その中でももう少し洋式化して欲しいだとかの要望もあるかと思えますし、逆にもう少し和式を残して欲しいとのお話もあるかもしれません。そこは協議をさせていただく必要があるのかなと思えます。ある程度の目安を決めていただくと良いのかなと思えます。

(委員)

一応、目安としては20人に1器としていただいて、あとは変更もあり得るということをお申書に入れてもらったら良いのかなと思えます。目安がないと無駄な経費が出てくると思えますので。

(事務局)

前回5月の学校の希望調査のことですが、委員の方も言われましたが、洋式化をして欲しいという希望があるところ、ないところがあったわけなのですが、例えば大規模改造を行った山室山小学校だとか、また伊勢寺小学校の方では女子では洋式便器が18人に1器という数がすでにあり追加の要望がなかったわけですが、トイレの位置だとかも重要でどの棟に子ども達は何人いてだとかもあるかと思えますので一律に何人というわけにはいかない部分もあるかと思えます。

どちらかと言うと、クラスで考えていただくよか、各階で考えていただいた方が良いかと思えます。例えば、1クラス40人いたらそこに2つの洋式トイレでいいのかということになりますが、各階に何人いるかということ考えていかなければならないと思えます。

(委員長)

そうすると答申ではなくて、付帯意見で20人に1器だとかのある程度の目安を考慮するとともに、学校の事情に応じて増やしたりだとかの数を検討していくということになりますでしょうか。

(委員)

目安を考慮するとかで書いていただいたらどうでしょうか。

(委員長)

その点に関して目安を付帯意見として記載するとともに、学校ごとの数を調査するというところで付帯意見の④で加えさせていただきます。その他ございますでしょうか。

あと、私からなのですが記入が漏れているところがございます、49ページに(2)の多目的トイレの設置に関してですが、前の45ページでは多目的トイレの設置が困難な場合にはということ

に関して、記述がされておりますが 49 ページではその点の記述が漏れていますので、そこを加筆させていただきたいと思っております。書き方として、(2) の一番下の「ただし、多目的トイレについては温水洗浄便座などの機能も必要ということと、なお、多目的トイレの設置が困難な場合は車椅子対応ができるようにトイレブースを広くとることが望ましく、大規模改修を行う際に新設をする」という形で加筆をさせていただきます。

その他いかがでしょうか。これで一通り議論をさせていただきましたが、何か全体的にこういうことを踏まえて欲しいとか、具体的にこれを加えて欲しいとかありますでしょうか。今回の議論を踏まえて私の方でさらに修正を加えさせていただきますが、もし後でお気づきになってこういうところを修正して欲しいとかございましたら、事務局の方までよろしく申し上げます。私の方で修正させていただきます。

(事務局)

2点ほど確認させていただきたいことがございまして、47 ページに (2) なのですが、教室の優先順位で文言を修正していただいたのですが、37 ページに (2) の教室の優先順位についてはこのままいくということなののでしょうか。それとも修正を行うのでしょうか。

(委員長)

そうですね、5章の方で修正した内容は前の方も同じように修正する必要があると考えています。

(事務局)

それともう1点が48ページの⑤についてですが、エアコン設置に関する教育的効果で新たな教育的な取り組みが行えると考えられるということですが、これについては案とかはございますでしょうか。

(委員長)

前回、委員よりお話しがあった件かと思っております。何か新たな取り組みということでお考えなどはございますでしょうか。あるようでしたら、答申書の中に反映したいと思っております。

(委員)

現状、32ページのところに教育的効果という内容があって、夏休みに補習ができるということと、懇談会ということ、それと食育だとか、そういったことが書かれていますが、他に何かございますでしょうか。

(委員)

あと、市民アンケートを見ていて、地域への開放だとかそういうことも良いのかなと思っております。講座とかにも使えるかと思っております。

(委員長)

他にございますでしょうか。では32ページの教育的効果というところから抜粋させていただくと、地域への開放というところも踏まえて、最後の5章のところでもまとめさせていただきますがよろしいでしょうか。その他、何かご意見ございますでしょうか。

それでは答申書の素案の検討を終了させていただきます。次回で最後の検討委員会になりますが、その中で西中学校の温度測定の最終報告ということで以前は7月末までの結果を報告させていただきましたが、次回では8月、9月での測定結果を加えて報告させていただきます。それを以って、エアコンの導入の是非の最終的な判断をしていただいて、答申書案を完成させていきたいと思しますのでよろしくお願いいたします。

それでは(2)のその他にいきたいと思います。ここからは公開とさせていただきますが、どなたかお見えでしょうか。よろしいでしょうか。それでは委員の皆様から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。では事務局から何かございますでしょうか。

(事務局)

事務局からですが、次回、第8回検討委員会について、議事内容が「西中最終報告」と「エアコン導入最終判断」、「答申書(案)の検討」でございます。この答申書については、10月下旬に提出予定としており、その場で公表ということになるため、第8回も「エアコン導入最終判断」および「答申書(案)の検討」を非公開で開催ということにさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員長)

いかかでしょうか。(委員一同了承)

それでは、第8回検討委員会の答申書にかかる議事は、非公開で開催することにいたします。これをもちまして、本日の協議を終えることとし、事務局に進行をお返しします。ありがとうございました。

以上